

平成 29 年 看護管理者・中堅看護師交流研修会を開催しました

- 【テーマ】 大切な人材を活かすためのキャリア支援
- 【目的】 個々の看護職が、主体的に看護職について構想し、実現を目指し、いきいきと働きつづけるためのキャリア支援についてスキルを高める。
- 【日時】 平成 29 年 10 月 21 日（土） 13：30～16：30
- 【対象】 県内の中堅看護師、及び看護管理者または看護管理者を目指す会員・非会員
- 【参加者】 47 名
内 看護師職能委員 I（病院領域）6 名
岩手県看護協会 3 名

【場所】 岩手県看護研修センター 3 階研修ホール

【プログラム】

1. 講義 「大切な人材を活かすためのキャリア支援」
講師：岩手医科大学看護学部 共通基盤看護学講座
特任教授 秋山 智弥 氏
2. ワールドカフェ形式を用いた意見交換

平成 28 年度に開催した看護管理者研修会において、看護師長を対象としたアンケート調査を実施したところ、看護師長の役割と役割発揮の状況について、「看護の質保証」「人材育成」「個々のキャリア支援」の重要性を感じているが、役割を十分に発揮できていないという結果が示されました。また、病院領域のトップマネージャーを対象とした調査では、看護師長の重要な役割として「部署の人材育成」が挙げられました。そこで、看護師職能委員会 I では、「キャリア支援」に着目し、個々の看護職が主体的に看護職について構想し、実現を目指し、いきいきと働きつづけるためのキャリア支援についてスキルを学び、看護管理者と中堅看護師が意見交換を行う研修会を開催いたしました。

講師には、岩手医科大学看護学部 共通基盤看護学講座 特任教授 秋山智弥先生をお迎えしました。秋山先生は日本看護協会副会長を兼任されており、本協会看護師職能委員会 I の活動にも関心を示していただきました。講義では、看護の基本に立ち返り考えること、スタッフに関心を示し語り合うこと、部署や病院の垣根を越えた支援体制を構築していくための方法を考えることなどをお話いただきました。後半は、看護管理者と中堅看護師がワールドカフェの中で、キャリア支援について考え、それぞれの立ち位置から意見を述べ合いました。アンケート結果からは、多くの学びが共有されていると感じた研修会でした。

今後も看護師職能委員会 I の活動に対するご指導・ご協力をよろしく願いいたします。